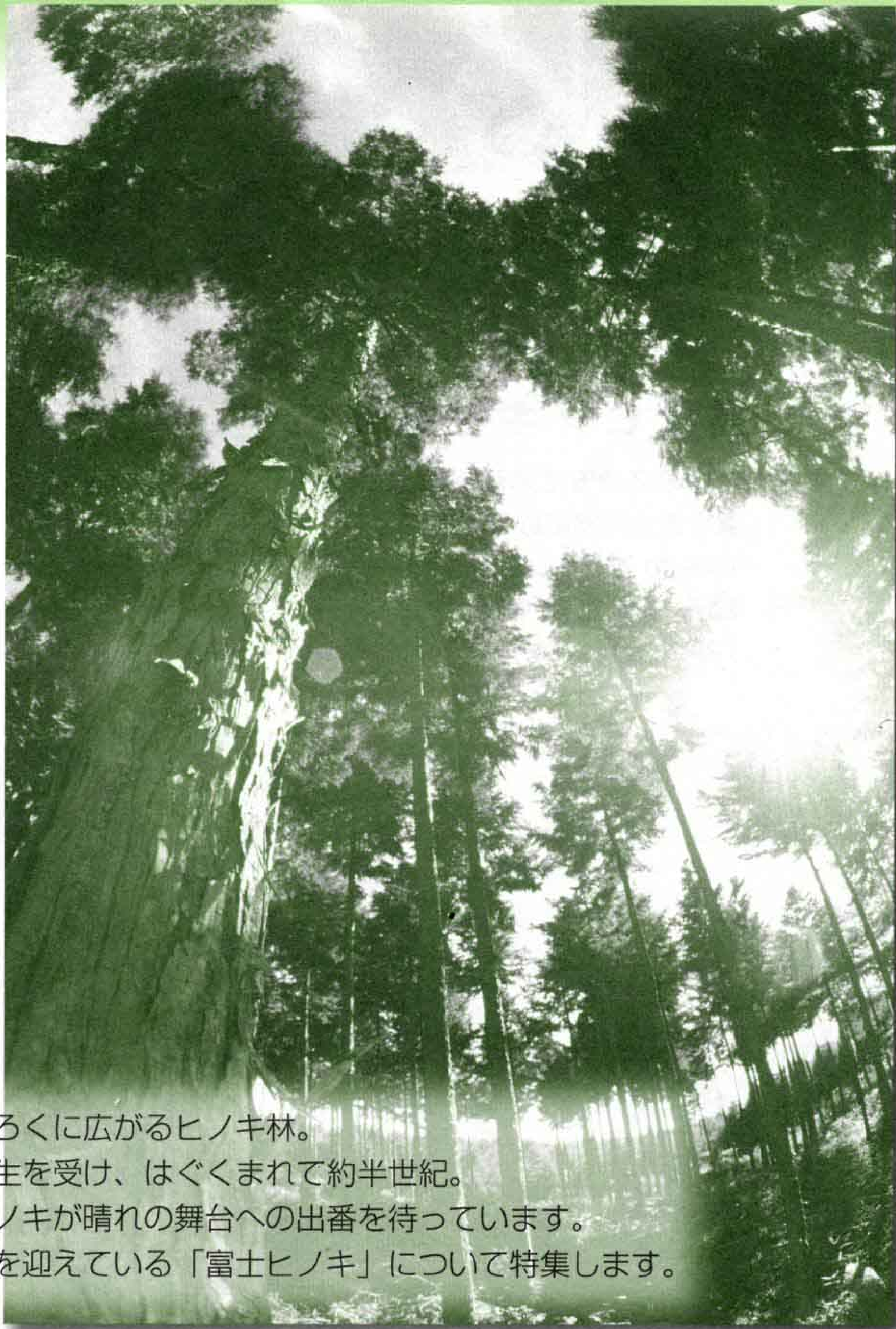


# 富士ヒノキを考へる



富士・愛鷹山ろくに広がるヒノキ林。  
戦後この地で生を受け、はぐくまれて約半世紀。  
たくさんのヒノキが晴れの舞台への出番を待っています。  
今回は、伐期を迎えている「富士ヒノキ」について特集します。

## 富士市の林業

富士市の森林面積は一万六百三十ヘクタールで、市の総面積の約五〇％を占めています。そのうち木材生産を目的としたヒノキ、杉などの山林は、七千ヘクタール余りとなっています。そして、その約八〇％がヒノキです。

植林は明治三十年代、金原明善翁きんばらめいぜんの指導を受けて静岡県山林協会が桑崎に植林したのが始まりで、内山組合（越前岳尾根通りの西側富士すそ野に至る一帯の傾斜地帯を内山と言います）に受け継がれました。以後、富士・愛鷹山ろくの植林は大いに広まりました。これら植林された木は、第二次世界大戦中乱伐されましたが、戦後、再び植林されたものが成長し、今後伐期（伐採の時期）を迎えるヒノキが急増する見通しです。



金原明善翁ら大規模植林地（市指定史跡）  
当時植林された樹齢97年生のヒノキなど約500本が立ち並んでいます。



治山の碑 内山組合が産業開発優良団体として県知事の表彰を受けたことを記念して、昭和29年に先人の功績を後世に伝えようと建てられました。



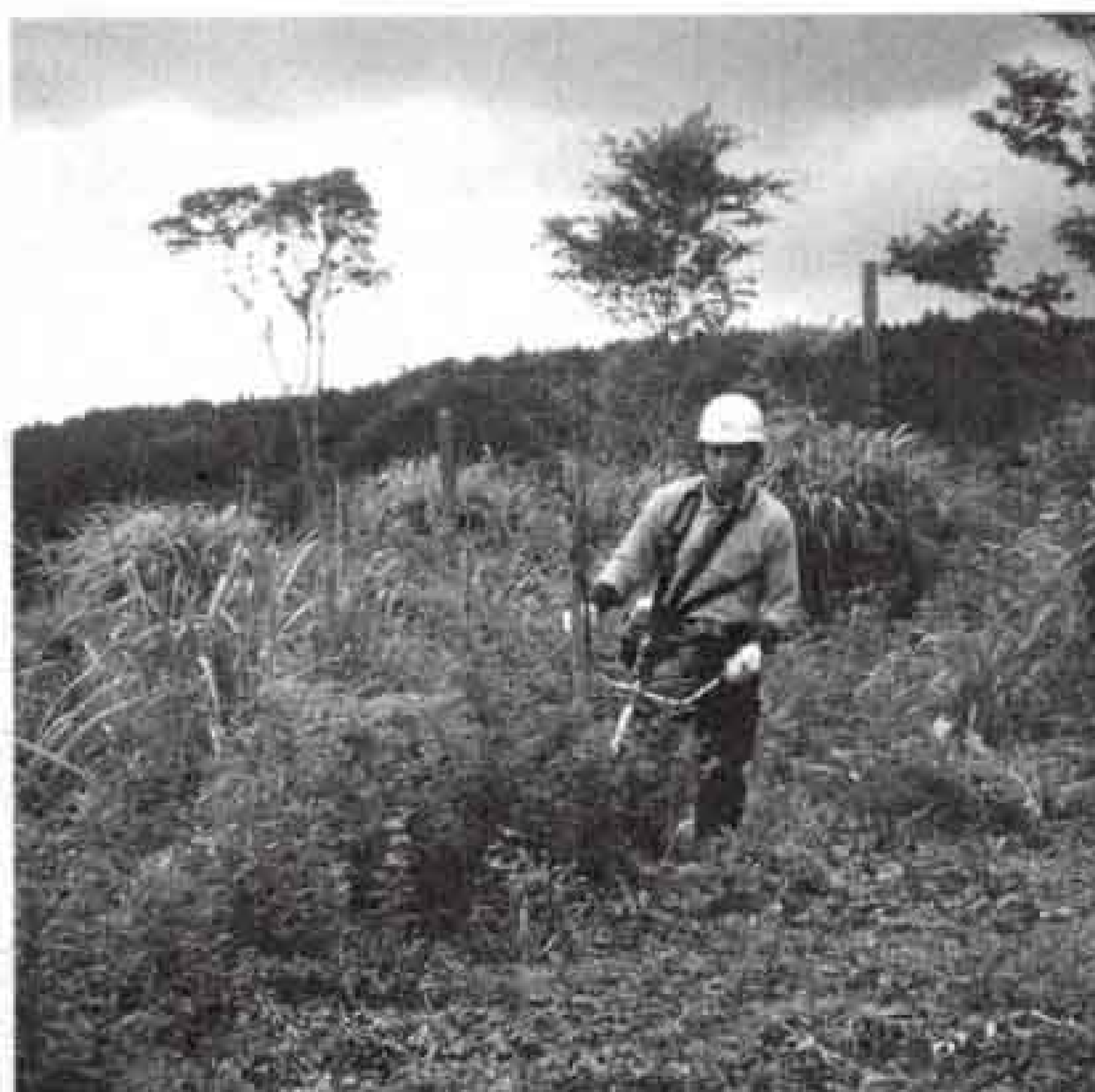
# 富士ヒノキが製品になるまで

## 1 植 林



森林に新しい命が吹き込まれます。

## 2 下刈り



日光を浴び、丈夫に早く成長するよう、林齢2～8年生の木の回りに生える草を刈ります。(7回実施)

## 4 間 伐



木の成長を促すため、十八〜三十五年生の木を切って木の間隔を開けます。(三回実施)

※間伐された木は、木工製品や建築材などとして利用されます。

## 3 枝打ち



節のない木をつくとともに、太陽光を入れるため、10～25年生の木の枝を林齢にあわせて落とします。(3回実施)

## 5 伐 採



いよいよ伐採。四十五〜五十年生の木を切ります。

## 6 運 搬



伐採後、木の長さを3、4メートルにそろえてから富士木材センターへ運びます。

枝打ちや間伐をしないと、森林内に太陽光が入らず、下草が生育できないため裸地化し、土砂が流出するなど、災害をもたらします。



手入れされた森林



手入れの悪い森林

※林齢・実施回数は市有林の林業施業指針から



### 県東部地区から 集荷された木材の市場



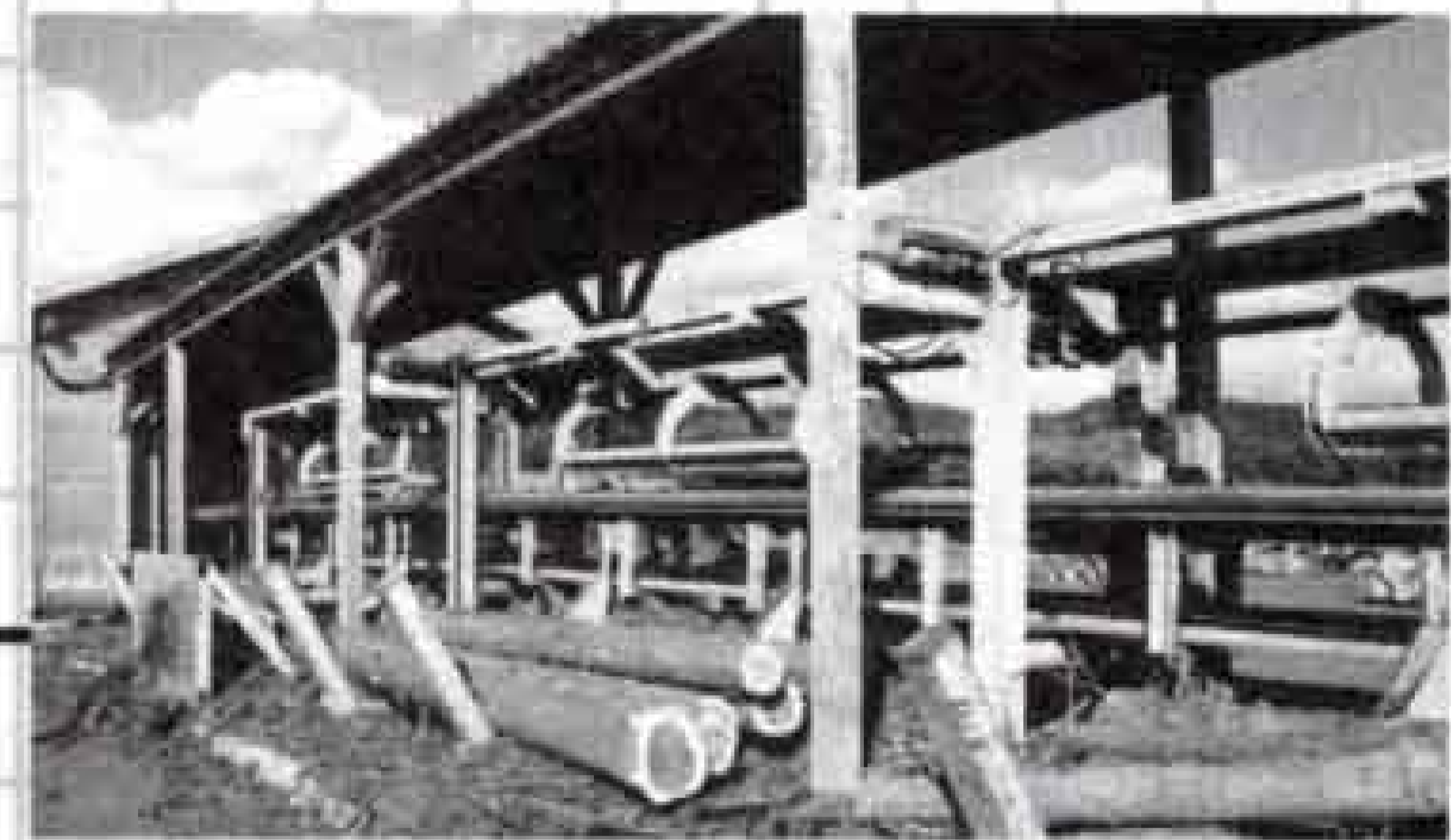
## 富士木材センター

大淵六九七八ー一  
☎三五ー三五七七

富士木材センターは、県東部地区で生産された木材の流通・販売の拠点として昭和五十四年に設立され、静岡県森林組合連合会が運営しています。これまで、丸太自動選別機の設置など、機能を充実させてきました。

平成十年度の取引量（材積）は、三万七千二百七十立方メートル。樹種別の取り扱いには、ヒノキが最も多く、次は杉でした。富士市からは約五〇％が集荷されていますが、地元（興津川以東）への売り上げ量はわずか一八％で、県中部へは六六％となっています。

自動選別機。原木の長さや太さを自動的に選別します。

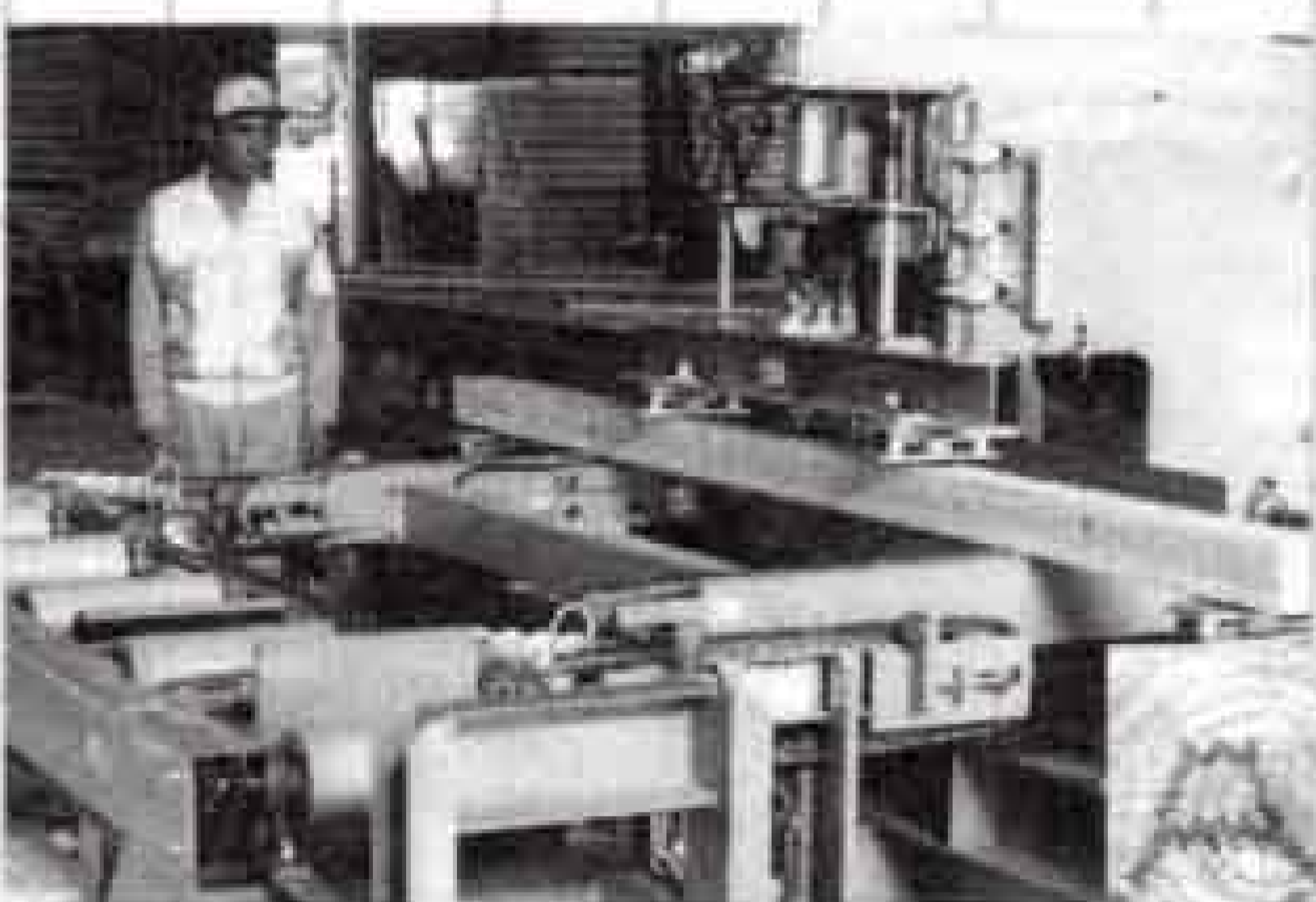


## 富士ひのき加工協同組合 (くるみの里) 大淵4622 ☎37-0117

### 富士ヒノキの高付加価値 化を担う木材加工施設

富士ヒノキの高付加価値化と資源の再利用を目指して、ことしの六月に開設された、最新型の木材加工施設です。安定した性能と強度を持つ構造材（柱・土台）を生産するため、人工乾燥機や木の強度をはかるグレーディングマシンを導入。全国に先駆けて、含水率と強度を表示した製品を市場に送り出しています。

愛称名の「くるみの里」は、来て（くる）見（み）てヒノキの香りとぬくもりを感じてもらいたいという願いが込められています。



最新型の機械を導入



含水率と強度を表示



富士ひのきの家



## 田子浦港木材協同組合 (もくもくタウン・フジ)

蓼原889 ☎61-2266

### 富士ヒノキのぬくもりを 伝える小さな街



富士ひのきの館

もくもくタウン・フジには、富士ヒノキのよさを広く伝えるためのさまざまな施設があります。

「木造住宅展示棟」では、工夫を凝らした住宅が建ち並んでいます。その中に、県で提案した静岡県型木造住宅のモデル第一号として、富士ヒノキを主材とした「富士ひのきの家」が建てられています。また、「富士ひのきの館」では、木工教室や体験教室などが行われています。そのほか、「ウッドファッションもくもく」では、家具や置物など木製品が展示・販売されています。

厚原にお住まいの鈴木さんの家は、富士ヒノキを使って建てられました。



[写真左から]  
鈴木雅仁さん・諒君  
良枝さん・雅樹君(厚原)

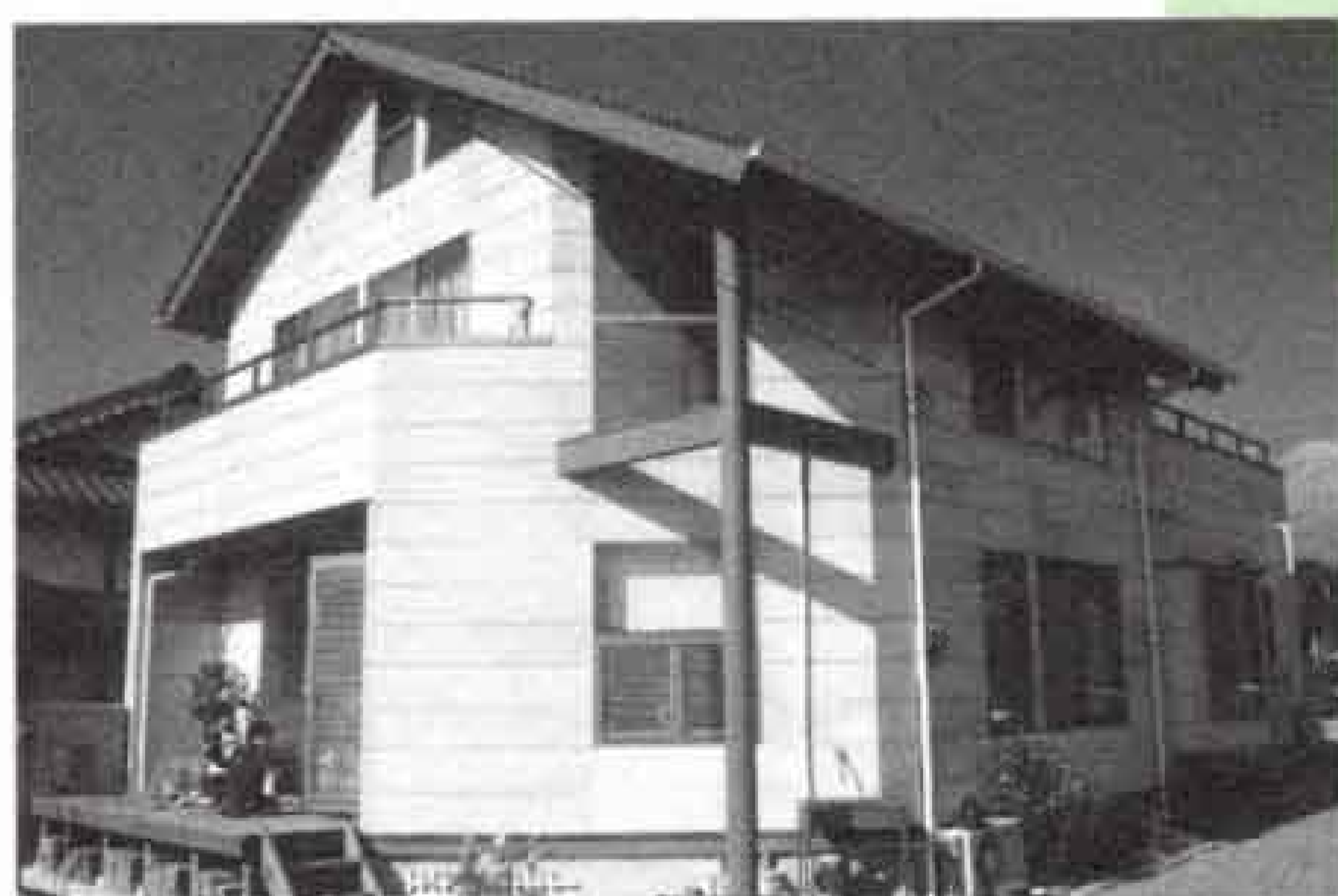
## 地元の木を使った 家づくり

ことしの三月まで浜松市に住んでいたのですが、両親のいる富士市で家を建てようと思っ、家についてのいろいろな情報を集めました。その中でわかったことは、土台と柱をヒノキにしてしっかり建てれば木造住宅は地震にも強いということでした。そして、たくさんパンフレットの中から目にとまったのは、もくもくタウン・フジにある富士ひのきの家でした。富士がヒノキの産地だったなんて全く知りませんでした。地元でとれる木ですから地元の風土に合っているのではないかと思いました。実際に展示場へ見学に行っ

たところ、室内にも木がふんだんに使ってあってすっかり気に入りました。

金額面では、ヒノキで家を建てるより高くなると言われていましたが、土台と柱だけはヒノキでつくりたいと思っていましたから、それほど気にならなかったですね。

実際に住んでみて、やはり木のぬくもりは気持ちがいいですね。仕事の疲れもとれます。また、梅雨どきはしっかり湿気を吸い取ってくれて、じとじとしません。やはり木は違いますね。家になっても生きていて感じますよ。木をたくさん使いたいという希望がなくなってきたかと思っています。



# 富士ヒノキ

県富士農林事務所は、富士ヒノキの下刈りと枝打ちを行う森林ボランティア「富士山フォレスト」を募集しています。



松本美佐子さん  
(富士岡)

## 育林の手伝いで、富士ヒノキへの思いが膨らむ

以前から自然の中にいるのが好きだったし、森林あつての私たちの暮らしだと思っていたので、森林づくりのお手伝いになればと思い、富士山フォレストスタッフに応募しました。夏に行う下刈りは、大きなかまを使っての作業で、汗だくになってしまいました。林業の仕事は本当に大変だなと痛感しました。

木が製品になるまでは何十年もかかり、私がやっていることはささいなことかもしれない。でも、自分が下刈りや枝打ちをした富士ヒノキには、大きくなって立派な製品になってほしいと思います。

## 気持ちがいよいよヒノキの香り

新しい体育館は、二学期から部活動で利用しています。ヒノキの香りが体育館いっぱい漂い、とても気分がいいです。ヒノキでできた露天風呂に入っているような気持ちのよさですね(笑)。

新しい体育館は、練習の雰囲気が変わりましたね。練習してとても楽しいし、部員みんなもとてもはりきっています。これなら次の大会で上位を目指せそうです。



山口鈴華さん(2年・比奈)  
佐野裕君(2年・原田)





## 知られていない富士ヒノキ

**須田** 今、森林と私たちの生活が別世界になっているような気がします。子供たちの多くは、ヒノキと杉の区別もつかないのではないのでしょうか。  
**渡邊** 昔は家庭でたき木を使ったりするなど、木とふれあうことが多く、森林が身近に感じられたと思います。しかし、今では皆さんと林業とのかわりが薄くなったとつくづく感じますね。

**富士市**では、戦後にヒノキを大造林したのですが、そのころに林業をやっていた人たちは、年をとってしまったり、その子供たちは山に関心を持たないのです。今では、山を所有している人さえ、自分の山がどこにあるのかわからない人もいます。これから伐期を迎え、若い人の林業離れがとて心配です。

**須田** 私も含めて一般の人には、富士ヒノキはあまり知られていないと思いますが、一般の人も富

# 21世紀へ・・・ 夢は富士ヒノキの銘柄化

## 座談会・富士ヒノキを考える

まちかどネットワークの須田敦子<sup>あつこ</sup>さんに司会をお願いし、富士ヒノキの現状、抱えている問題、将来の夢など、林業関係者の3人に話し合っていました。

士ヒノキとふれあえる場があるといいですね。

**平井** 市では、ヒノキを植林する植樹祭を行ったり、親子木工教室を開いたりして、市民の皆さんに富士ヒノキとのふれあいの場を設けています。また、県が二年前に桑崎(勢子辻)に整備した「ひのきの森」には、遊歩道や池などがあり、自由に散策できるようになっています。

**佐野** 富士ひのき加工協同組合「くるみの里」(P4参照)に大人だけでなく子供たちにも来てもらい、富士ヒノキに親しんでいただきたいですね。

## 特徴は強度の高さ、しかし・・・

**須田** 富士ヒノキの特徴について教えてください。  
**佐野** 富士山ろくの土壌は火山灰なので、養分が少なくあまり木が育ちません。苦勞して大きくなったので、年輪の目が詰まっています。ですから粘り強く、非常に強度があります。強度に関しては、どこにも引けをとらないと思っています。また、しんが真ん中にあり、色が白くて、切ると中が赤く、美人ですよ(笑)。でも、今まで富士ヒノキは見向きもされていませんでした。枝打ち不足から、節が多くなってしまっていたのです。

**渡邊** 富士市の森林所有者は、極めて零細で機械化も進んでいませんし、外国産の木材との競争もあり、採算性が悪化しています。それに、後継者不足もあって、手入れ不足になってしまう森林も多いのです。

**須田** 市では手入れの指導をされませんか。  
**平井** 森林は、水源かん養、空気の浄化、土砂流



**須田敦子**

さん

まちかどネットワーク

富士ヒノキと  
市民のふれあえる場を

山の活性化に  
つながる  
富士ヒノキの将来



渡邊 眞吾 さん

富士市森林組合長

失防止など、私たちの生活にとって大切な役割を果たしてくれています。市としては、健全な森林の育成のため、枝打ちと間伐の補助金制度を設けています。間伐は、国、県の補助をあわせれば、自己負担なく行うことができます。また、富士市林業振興推進協議会（林業関係者と市・県で組織）では、県道富士裾野線沿いの山林の調査を行い、所有者に手入れをお願いする文書を出す予定です。佐野 ただ、近ごろは木材に対する価値観が変わってきましたね。見た目よりも強度を重視するようになってきました。建築基準法の規定も、来年六月（予定）に仕様規定（幅・形）から性能規定（強度・含水率）にかわります。このため、節があっても強度があればいいという考え方になってきます。

渡邊 節といっても、あってもよいのは生き節で死に節（枝打ちをしないうちに枯れてしまった跡）はだめです。今でも、節があるよりはないう方が高

く売れますよ。  
平井 製品としても、環境保全のためにも、枝打ちと間伐は必要ですね。

伐採後も生き続ける木

須田 環境保全の話が出てきましたが、伐期を迎えたという、木を切ってしまうわけですが、木を切るといってどうしても、環境の悪化を心配してしまいます。切った後はどうなりますか。

平井 また、植林していきます。

佐野 木は成長の過程で二酸化炭素を吸い、酸素を吐き出します。しかし、木も年をとってくると新陳代謝が悪くなってきました。世代交代をしないとダメですね。ですから、成長を見ながら切り、その後新しい苗を植える。こうした循環こそが環境保全につながるのです。

渡邊 それに計画して切っていくから大丈夫です。成長がとまった木はどんどん切って、新しい木を



富士ヒノキは  
新しい時代の木

佐野 三郎 さん

富士ひのき加工協同組合理事長

環境保全のためにも  
富士ヒノキの  
健全育成が必要



平井 光男

富士市林政課長

植えた方が、環境保全にも経済的にもよいのです。  
須田 切ると、木がかわいそうだという声もありますが…。

渡邊 「樹齢千年の木は切っても、また千年使える」と法隆寺を改築した宮大工さんが言っていますが、木は切ってもまだ生き続けているのです。  
佐野 木に対する愛情というのは、四十五〜五十年たったら切って、その後は建築材として何十年も頑張ってもらおうということです。ぜひ、皆さんに木を切る意義をわかってほしいですね。

富士ヒノキの価値を理解してほしい

須田 そうですね。ところで、富士ヒノキは強度が高いと言いますから、伐採後の木は家の建築材として多く使われているのでしょうかね。

佐野 そのとおりです、と言いたるところなのですが…。

須田 それはなぜでしょう。

佐野 富士ヒノキの価値を十分理解してもらえないからだと思います。日本人は新しいものが好きですし、地震などの災害があつて、鉄筋の住宅に人気が集まってきました。また、外国産の木材も入ってきて、ヒノキは高いというイメージもできてしまったようです。しかし、しっかりしたところで建てれば木造住宅の方が長持ちしますし、富士ヒノキを使って建てれば間違いないです(笑)。

渡邊 本当は木造住宅に住みたいと思ってる人の数は多いのです。供給側もよいものを安く提供するよう努力しなければならぬと思います。

### わずかな地元への流通

須田 富士ヒノキの流通先は地元が多いのですか。  
渡邊 地元には国産材専門の製材工場が少なかったため、ほとんど西の方へ流れてしまい、今までは地元には二〇%くらいしか残りませんでした。

佐野 そのため、行政の力も貸していただき、地元でとれた木は地元で製材しようと、「富士ひのき加工協同組合」が設立されたのです。ここができたので、地元への流通が少しずつふえてきました。  
須田 今まで地元以外に富士ヒノキが流れていったというのですが、その先では富士ヒノキとして消費者に渡っていたのでしょうか。

佐野 残念ながら、いい木はこれまで原木のまま各地に運ばれて製材され、その銘柄で売られていました。富士市でとれた木が名古屋の製材所で加工されれば東濃ヒノキになってしまうのです。それが富士市に戻ってきたりするので(笑)。  
須田 それでは、原木では富士ヒノキかどうかわからないのですか。

三人 そうです。原木を見ただけでは、どのものかはわかりません。  
佐野 そのため、富士ひのき加工協同組合では角材に加工したものに「富士ひのき」というマークを入れるようにしました。

## 21世紀へ... 夢は富士ヒノキの銘柄化

座談会・富士ヒノキを考える



### 目指すは銘柄化

須田 富士ヒノキという銘柄で売ろうということですね。それに、木材生産者は高く引き取ってくれるところに売りますよね。

佐野 そのとおりです。夢は富士ヒノキの銘柄化の実現です。現在、富士ヒノキという銘柄をつけ、PRをして知名度を高めようとしています。富士ヒノキは国内産の木材だけでなく外国産の木材との競争にも負けられないようにしなければなりません。これからの勝負は強度がポイントになるので、強度の高い富士ヒノキの将来は明るいと思っています。

須田 富士ヒノキの将来は明るいのですね。

佐野 富士ヒノキは新しい時代の木です。「強度が高い富士山のふもとの木」をセールスポイント

に、富士ヒノキは世界を制覇するのではないかと  
思っています。ぜひ、市民の皆さんには富士ヒノ  
キの価値を十分理解していただき地元の木を使っ  
てほしいですね。

渡邊 そうですね。そのためには富士市だけでな  
く広域で考えて、機械化を進めていきたいですね。  
まとめてたくさん木材を提供できれば、採算が  
合います。そうなれば、若い人も山に帰ってくる  
のではないのでしょうか。富士ヒノキが銘柄化し將  
来が開けると、山も活性化します。

平井 富士ヒノキの銘柄化については、富士市だ  
けでなく富士地区、富士流域(P2参照)と広域  
の行政と林業関係者が一体となって取り組んでい  
く必要があります。

森林は地下水をはぐくみます。富士市は地下水  
に頼っています。富士ヒノキを含めて森林は林業  
関係者だけが守るのでなく、市民全体で考えてい  
くことが大事です。市もPRしていきます。

須田 皆さんのお話を聞いて、林業関係者のご苦  
労もわかり、富士ヒノキについて理解できたよう  
な気がします。ぜひ、林業関係者の皆さんに頑張  
っていたきたい。そして、多くの人にも富士ヒ  
ノキのことを知ってもらって、富士ヒノキの銘柄  
化が実現することを願っています。皆さん、どう  
もありがとうございます。

富士市の面積の半分を占める森林。  
その森林は、私たちの暮らしを守つ  
ています。

地元の木「富士ヒノキ」の銘柄化は、  
私たち市民みんなの生活にもかかわ  
る身近なテーマだったのです。皆さ  
んも、富士ヒノキのことを一緒に考  
えてみませんか。

問い合わせ  
林政課 内線2571